

陸上操油係より連絡事項

操油課 陸上操油係

1. 過積載防止計算シートについて

2022年2月1日より過積載計算シートの運用を始めています。計算シートの活用を開始してから過積載の件数については減少していますがまだゼロ件にはなっていません。

4月11日よりEXT-4・4S、硫黄、液化炭酸ガスのローリーについてはシステム導入され過積載の計算をシステムより行いますので計算シートへの記載の必要は無しになりますが、過積載になった場合は、所定の荷卸し設備に移動して荷卸しを行う事になります。荷卸しを行うには関係部署への調整が必要になり出構まで時間がかかりますので注意をお願いします。尚、受付時には、正規 DC カードが必要になりますので、まだ DC カードを受け取っていないローリーがある様でしたら陸上出荷センター施設係員へ問い合わせ DC カードを作成してもらって下さい。また、ST-AS、BL-AS のローリーについては、2023 年のシステム導入となりますのでシステムが導入されるまでの間は、過積載計算シートを使用しての確認は続きます。ST-AS、BL-AS のローリー車についても DC カードを随時配布する様に準備しています。

※大半の過積載は 100Kg 以下の過積載ですので、道路交通法で定める乗務員体重で再計算を行った場合は過積載判定ではなくなるものでありますが、ギリギリでの積込ではなく余裕のある積込をお願いします。

2. 積場ステージ上への受缶滞油処理 BOX 設置について

ドロップパイプの受缶に溜まった油は各ポイント後方に処理 BOX（乗務員の要望）を設置しましたので処理をお願いします。積込時に受缶に溜まった油は異物・水分の混入の可能性があります、品質不良になるためローリーハッチに入れることはしないで処理 BOX へお願いします。

3. ゲートシステム導入に伴う通門証・車両登録書の変更について

ゲートシステム導入により通行時に自動で登録されているかの確認がされます。第 1 期工事として正門にゲートシステムが導入されます。第 2 期工事でローリー門、西門にゲートシステムが導入される予定となっています。システムで入出構を管理するために、通門証・車両登録証が新しく警防課より配布され、陸運安全協会より申請用紙が届いていると思いますので申請して下さい。通門証の引き換えについては、陸上出荷センターにて現在の通門証と交換します。（警防課の方で現在作成していますので作成順にセンター施設係員により乗務員へ声をかけさせていただきます）通門証は 3 年間有効の統一したものになります。（更新方法などは、後日、警備課の方から説明会を開催すると思います）車両登録証は B5 サイズくらいのものでローリーの見える所へ置いて下さい。用紙裏に車両認識 TAG が貼り付けられています。（登録はヘッドのみ登録）

警防課からの申請用紙の中に初入構教育と書かれた用紙もありますが、この用紙については通門証を作成する用紙で、陸上操油係が行う初入構者教育予約用紙とは異なりますので間違えない様お願い

します。初入構者教育を受講する場合は、今まで通り規定の用紙で FAX を陸上操油係へお願いします。また、車両登録証は、警防課で発行される B5 サイズの車両認識 TAG が貼り付けられた車両登録書と、陸上出荷センター受付時に確認する車両登録書（ヘッド・タンク）があります。陸上出荷受付時に使用する車両登録証は、現在行っている車両登録時に新しい物に交換していきます。予約受付時には、通門証と車両登録証を施設係員に見せて下さい。

4.アスファルトローリー車両の荷卸し用先端キャップについて

2022年3月に弊社へ苦情連絡がありました。ホースにキャップをせずに車両走行しているのが会社として嚴重に処罰して欲しいとの連絡でした。陸上操油係員でキャップ未装備ローリーのパトロール強化をしていこうとしている所での苦情となりました。

入出構のルールとしては先端にキャップを取付けるルールとなっていますので必ず厳守するようにお願いします。キャップをするとキャップが外れなくなると言う事も聞いていますが、外れない事は無いと思いますのでしっかりルールを守って頂くようにお願いします。

5.油種間違いでの L/A 挿入について

L/A の差し間違いについて未だに 1 か月 1~3 台のペースで誤操作があります。運送会社より再度乗務員への教育を行ってもらい報告書を提出してもらいましたが、報告書を受取った後にも誤操作が発生しています。誤操作に於いての事情説明では思い込んでいた、急にオーダーが変更になったなどが大半です。設備も要望通り変更してありますのでしっかり確認して慌てず慎重に積込作業をお願いします。また、積込油種について積込ができないポイントへ入線して積込を行おうとして異常アラームを発報させることもありますので、入線時のポイント油種の確認も行う様に指導をお願いします。